



「社協」は(社)会福祉(協)議会の略称です。

〒519-0164 亀山市羽若町545番地 市総合保健福祉センター「あいあい」内 発行 **亀山市社会福祉協議会** ホームページアドレス http://kameyama-shakyo.or.jp **第36号** 第36号

メールアドレス aiai@kameyama-shakyo.or.jp

平成26年1月1日発行



30年以上にわたって音訳ボランティア活動を行っている豊田玲子さん(阿野田町)

主 な 記 事	
●ふくし最前線! 亀山朗読奉仕会 豊田玲子さん特集	1・4ページ
●新年のご挨拶	2ページ
●第9回亀山市社会福祉大会	2・3ページ
●社会福祉協議会活動紹介コーナー	5ページ
●お知らせ	6ページ

「社協だより」は、 市民の皆様からい ただいている会費 で発刊しています。



新年のご挨拶

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、社会福祉協議会のさまざまな事業の推進にあたり、深いご理解と格別のご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、近年、全国的に少子高齢化が進むなか、亀山市における高齢化率は全国平均よりも若干低いものの、年々増加をたどっています。また、ご近所付き合いの形も昔とは変わってきており、地域のつながりが希薄化することによって生まれる社会的孤立に対し、どう立ち向かっていくかが大きな課題となっています。

このようななか、亀山市社会福祉協議会では「ともに支え合い、いきいきと暮らすまち 亀山」を基本理念とする「亀山市地域福祉計画」及び「亀山市地域福祉活動計画」にもとづき、誰もが地域で安心して暮らし続けていけるよう、地域の皆様とともに地域での居場所づくりを進め、思いやり・支え合いの心を育むための福祉教育に力を入れながら福祉のまちづくりに取り組んでおります。

今後とも住民の皆様には、より一層のご協力ご鞭撻の程お願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会 会 長 佐々木 宣明

第9回亀山市社会福祉大会を開催しました

第9回亀山市社会福祉大会被表彰者·団体(敬称略·順不同)

亀山市長表彰 ◆保護司功労者 3名 久保田 智子 道山 麿輝 櫻井 光乘 ◆社会福祉関係団体・施設等功労者 4名 前川明彦 山内 千鶴子 和田 猛 尾矢 登世子 ◆ボランティア功労者・団体 9名1団体 三浦 教子 生駒 重子 樫野 壽眞子 佐脇 ゆずる 打田 すみゑ 杉野 勝子 髙本 真貴子 若林 ひろ子 寺山 昭 かぼちゃの会 亀山市長感謝 ◆社会福祉事業寄付 1名1団体 忍田弘法院弘志会 片岡 恵子 亀山市社会福祉協議会会長表彰 ◆社会福祉施設・団体等功労者 10名 別府恵太 堀岡 沙友里 佐野 和代 濱口 尚美 福永 磨子 若林 あゆみ 加太干 黒田 力男 三谷 信男 水野 慶子

		委員功労者 	_			2名	
	倉田	正信	德田	信子			
	▶ボラン	ノティアリ	力労者			17名	
	藏城	てい子	藤葉	紀子	糸井	ふみ子	
	後藤	誓子	大木	功	櫻井	正子	
	眞川	せつ子	島し	ノづ子	富田	惠美子	
	大坪	沢子	末澤	恵子	田村	洋子	
	松岡	まり子	金川	昭二	豊田	悌二	
	波田	雅二	増地	孝一			
亀山市社会福祉協議会会長感謝							

◆社会福祉事業寄付 2名5団体 株式会社 スズカ 鈴鹿農業協同組合 古河電気工業労働組合三重支部青年部 ボーイスカウト亀山第4団 三重県遊技業協同組合亀山支部 中村 次郎 中村 通子

◆募金成績良好自治会 9団体 川崎町徳原自治会 北町自治会 安知本町自治会 川崎町堂坂自治会 古裏自治会 白木一色自治会 太森町岩森自治会 古厩自治会 栄町住宅自治会

11月7日(木) 中央コミュニティセンターにおい て、市と市社会福祉協議会の共催で「第9回亀山市 社会福祉大会」を開催しました。

市内における福祉関係者200名以上の方々にご出 席いただき、民生委員児童委員、保護司、社会福祉 関係団体・施設職員、福祉委員、ボランティア、自 治会など、地域福祉に貢献されている48名16団体の 表彰が行われました。

記念講演には、住民流福祉総合研究所の木原孝久

氏を講師に招き、ご近所付き合いを基盤とした地域での支え合いについてご講演いただきました。 木原先生の講演内容の一部をご紹介します。



記念講演「ご近所パワーで助け合い起こし」

講師:住民流福祉総合研究所 所長 木原 孝久 氏



- 次の中で、「私もそう思う」ものに図をしてください。 □自分や家族の問題は、まわりに隠しておきたい。
- □人に迷惑をかけることだけは絶対にしたくない。
- □人のことはなるべく詮索しないようにしている。
- □誰かが認知症だと気付いても、誰にも言わない。
- □お互いのプライバシーは十分に尊重し合うべきだと思う。 □隣人とは深入りせず、ほどほどのお付き合いにしている。

これらは奥ゆかしい日本人の常識ですよね。でもこれは実は、困った時に「助けて」と言 えない、また、周囲の「助けて」に気付こうとしないと言ってるようなものなんです。

ある地域でアンケートを取ったところ、95%の人が「困っている人がいたら助ける」と

言っていますが、逆に、困った時に「助けて」と言える人 は5%もいなかったんですよね。これでは助け合いは始ま りません。

地域には、言われなくても助ける「世話焼きさん」が必 ず存在します。ですから、地域での支え合いに必要なのは、 「世話焼きさん」と「助けて」と言える「助けられ上手さ ん」がうまくお付き合いすることなんです。



木原先生は"住民流福祉"を進めているなかで、「支え合いマップ」を実践されています。

「支え合いマップ」とは、地域の「世話焼きさん」や「助けを必要としている人」などを50 世帯ほどの単位で住宅地図に記し、人と人との関わりを線で結んでいくことで、地域課題を発見 し、住民活動につなげるための手法です。現在、災害時だけでなく普段の見守り活動にも役立つ 手法として、全国的に注目されています。

関心のある方は、住民流福祉総合研究所HP(http://www5a.biglobe.ne.jp/~wakaru/)を ご覧いただくか、社会福祉協議会までご連絡ください。



亀山市には、私たちの生活の身近なところで活躍している、福祉に関わる方々がたくさん居られます。「社協だより」では、それらの団体や活動について紹介します。

一人でも多くの人に声を届けたい

^{亀山朗読奉仕会} 豊田 玲子さん

平成25年秋の褒章で阿野田町の豊田玲子さんが社会奉仕活動への功績をたたえる緑綬褒章を受章されました。

豊田さんは約35年にわたって 広報誌や書籍を朗読し、録音テープやCDを目の不自由な方に届け るボランティア活動をされていま す。また、「亀山朗読奉仕会」の 設立当初からのメンバーでもあり、 平成6年から10年には会長とし て会の運営にもご尽力をいただい ています。

現在でも月1回の勉強会に欠か さず参加し、技術をさらに磨きな がら音訳活動に励む一方、これま で培ってきた知識と経験を生かし、 若い朗読奉仕者への指導にもご活 躍されてみえます。



月1回の勉強会の様子

Q 活動を始めたきっかけは?

A もともと本を読むことが好きだったのですが、子育てがいち段落して時間に余裕ができた時に県の養成講座を軽い気持ちで受けたことがきっかけです。

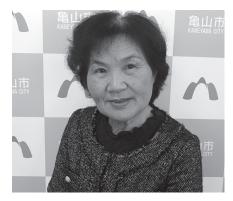
Q 朗読奉仕活動の魅力は?

A 本を読んでいる間は没頭して、 嫌なことなんかも全部忘れるんで すよ。

あと、この活動は一人ではできませんので、素晴らしい仲間や指導者に出会えたことも幸せだったと思います。

Q ご苦労されたことは?

A 昔は今のようにパソコンを使ったデジタル録音ではなくカセットテープだったので、録音中に雑音が入ったり、編集が大変だったりして、1冊の本を読み上げるのにすごく苦労しました。コンディションとかも影響しますし。でも、出来上がった時の達成感やリスナーの方から「ありがとう」という声をいただくと、やっててよかったと思いますね。



Q 褒章を受章した感想は?

A 本当に光栄に思っています。 読むことが好きで、気が付いたら 35年が経っていたという感じで はありますが、これも聴いて下さ るリスナーの方や一緒に活動して きた仲間の皆さんの支えがあった おかげだと思っています。家族に も本当に感謝しています。

Q 今後の活動については?

A 今後もますますがんばりたいと思っています。一冊でも多く、 一人でも多くの人に声を届けられたらと思っています。

あと、仲間をもっと増やしたいですね。この伝統を次の世代の人たちに繋げていきたいと思っています。

亀山朗読



主に「あいあい」2階の録音室を活動拠点とし、「広報かめやま」「社協だより」などの定期刊行物や書籍などをパソコン録音し、編集してCDを作成し、市内にお住まいの視覚障がい者の方に郵送しています。

また、季節の話題、生活の知恵、新聞や雑誌などから自主製作 CD「山鳩」を作成したり、月に1回勉強会を行ったりしています。 製作した録音図書「山鳩文庫」は、市立図書館で貸し出し中です。

お問い合わせ: 亀川市ボランティアセンター ☎82-7985

士会福祉協議会活動紹介コーナ

あいあい祭り2013

~であい ふれあい ささえあい~

今回で14回目となる「あいあい祭り」があいあ い及び医療センターで開催されました。

今年はあいにくの雨天でしたが、華やかなス テージ発表、福祉・健康に関連した体験コーナー や飲食ブースなど多くの人で賑わいました。



ひとり暮らし高齢者のつどい

11/19 • 11/26



合計221名の方が参加され、第一愛護園、第二 愛護園の園児による歌やオペレッタ、亀山高校総 合生活科の生徒による健康体操や制作活動などを 楽しんだ後、お昼には食生活改善推進協議会によ る手作り弁当と、「しいのみ会」による手作り味 噌のプレゼントが行われました。

午後は笑いヨガで大いに笑って楽しみました。

つくしの家絵画展 12/2~12/6



あいあいふれあいリビングにて、第17回つくし の家絵画展が開催されました。

作品はつくしの家利用者の皆さんが、毎月1回 の絵画クラブの時間に描いたものです。色鮮やか な楽しい作品が並んでおり、来場された方からは、 「見ていて楽しい気持ちになった」との声が聞か れました。

赤い羽根共同募金 募金活動



10月1日から、赤い羽根共同募金運動が始まり ました。市内の中学校、高校の生徒の皆さんにご 協力を頂き、市内のスーパー6ヶ所と、「あいあい 祭り」と「食の祭典・企業典」、亀山サンシャイ ンパークで募金活動を実施して頂きました。

平成25年度 赤い羽根共同募金 実績報告

8,027,190円 (12月10日現在)

皆様には、本年度も温かなご支援とご協力を頂きまして、誠にありがとうございました。

)はじめの一歩![ボランティア入門教室]を開催します。

ボランティア活動に興味はあるけど、どうやって始めたら良いのか分からないという方、この機会にボラン ティアの世界を覗いてみませんか。1回のみの参加でも結構です。

第1回 1月18日(土) 10:30~12:00 『ぽっかぽかの会』

~障がい児・者の就労、自立の実現に向けた私たちの取組み~

第2回 1月25日(土)10:30~12:00 『たすけあいクラブ』

~在宅福祉ボランティアとしてやっていること、そこから見えてくること~

第3回 2月15日 (土) 14:00~16:00 『三重パソコン要約筆記サークル ことのは 』 『 要約筆記サークル サーキット 』 ~ "聞こえ" のバリアフリー 難聴と要約筆記~

第4回 2月22日(土) 10:30~12:00『自助具の会』

~自助具「リーチャー」を作ってみませんか~

【場所】亀山市総合保健福祉センター「あいあい」2階 研修室 【参加費】無料 【申込期限】1月14日(火) 【申込・お問い合わせ】 地域福祉係 ☎82-7985

ホランテイア講演会」を開催します。

災害時のボランティア活動をテーマに講演会を開催します。災害ボランティア経験のある方もない方も、 是非ご参加ください。

【日時】平成26年2月2日(日)13:30~15:30

【場所】亀山市総合保健福祉センター「あいあい」 2階大会議室

【内容】 「私にもできるかな?災害時のたすけあい活動し

講師:特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク 常務理事 寺本弘伸 氏 【参加費】無料 【募集人数】60名(※座席に余裕があれば当日参加可) 【申込期限】1月31日(金) 【申込・お問い合わせ】地域福祉係 ☎82-7985

「福祉・介護の就職フェア」が開催されます。

福祉・介護の仕事をお探しの方を対象に、就職セミナーと就職相談会を開催します。

【日 時】 平成26年2月8日(土) 13:30~15:30

【会 場】四日市市文化会館 展示棟(四日市市安島2-5-3)

【対 象】 福祉·介護の職場に就職希望、または関心のある一般·学生(高校生以上)

※事前申込み不要(福祉のしごとガイダンスのみ事前申込み必要) ※託児室あり(予約制)

【お問い合わせ】三重県社会福祉協議会 三重県福祉人材センター ☎059-227-5160

意 ② 奇 旬 (平成25年9月11日~平成25年12月10日まで)

亀山市地区コミュニティ連絡協議会 様 亀山市婦人会連絡協議会 様 中村 次郎 様 中村 通子 様 在宅福祉ネットワーク愛里寿 様 亀の会様 福祉サポート隊様 たんぽぽ様 すみれの会様 亀山高校三九会 様 櫻井 潤一 様

お寄せいただきましたご芳志は、社会福祉事業のため有効活用させていただきます。厚くお礼申し上げます。

亀山市の福祉指数(平成25年12月1日現在)-

65歳以上の人口 11.897人 (男性 5,244人 女性 6,653人) 市総人口 50,116人 世帯数 20.409世帯

18歳以下の人口 8,934人 (男性 4,521人 女性 4,413人)

高齢化率 23.7%

株式会社 一誠堂

リサイクル適性(A) 再生紙を使用しています